

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和7年5月8日 ~ 10月6日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	リトルガーデンインターナショナル幕張ベイパーク保育園 リトルガーデンインターナショナルマクハリベイパークホイクエン		
所 在 地	〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1-39幕張ベイパークミッドスクエアプレイス201		
交通手段	海浜幕張駅より徒歩15分		
電 話	043-306-1722	F A X	043-306-1802
ホームページ	https://littlegarden-inter.com/licensed/		
経 営 法 人	株式会社リトルガーデン		
開設年月日	2024年4月1日		
併設しているサービス	特になし		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県美浜区								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	9	21	21	23	23	23	120		
敷地面積	722.04㎡			保育面積			722.04㎡		
保育内容	0歳児保育	✓	障害児保育	✓	延長保育	✓	夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	月毎の発育測定・園医の健康診断と歯科検診等								
食事	完全給食								
利用時間	平日 7:00~20:00 土曜日 7:00~19:00								
休 日	日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)								
地域との交流	夏祭り・B-pam活動・ハロウィンイベント								
保護者会活動	全保護者対象の保護者会を実施(9月、3月)								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	12	19	31	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	24		2	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1	4	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	千葉市美浜区保健福祉センター子ども家庭課	
申請窓口開設時間	9:00~17:00	
申請時注意事項		
サービス決定までの時間		
入所相談		
利用代金	千葉市に準ずる	
食事代金	千葉市に準ずる	
苦情対応	窓口設置	保育園玄関に掲示
	第三者委員の設置	田部井 正次郎

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>開園当初より、当園では「子どもも大人も心地よく過ごすことのできる暖かな場所」を保育目標として掲げています。 保育園は子どもたちが1日の多くを過ごす生活の場であり、私たちはその中で「たくさん遊び、たくさん学び、いろいろな感情を感じて、素敵な時間を過ごしてほしい」という想いをもち、日々の保育を行ってまいりました。 また、保育理念として掲げる「国際感覚の育成と豊かな心を養う情操教育」の実現に向けて、 下記の4つの保育方針を重視しています。 ・創造性：自由な発想と表現を尊重する環境づくり ・道徳：人との関わりの中で思いやりと感謝の心を育む ・遊び：年齢に応じた発達に必要な遊びを通じて育つ力を支える ・国際文化：英語や多文化に触れる体験を通して広い視野を育む</p>
<p>特 徴</p>	<p>認可保育園 × インターナショナルスクールの融合 当園は、千葉市認可保育園としての地域性・公共性を重んじながら、インターナショナルスクールの教育的要素を取り入れた、先進的かつ多様性を尊重する保育を実現しています。 ◆ 認可保育園としての安定した基盤 国の基準に基づく職員配置・施設環境のもと、安全かつ信頼性の高い保育を提供 ◆ インターナショナルスクールとしての教育的特色 ネイティブ講師による英語保育を日常的に取り入れ、自然な言語習得と国際感覚を育成</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>“子どもも大人も、心地よく過ごせる暖かな場所”を目指して</p> <p>2024年4月に開園したリトルガーデンインターナショナル幕張ベイパーク保育園は、定員120名規模の、認可保育園とインターナショナルスクールの特長を併せ持つ、リトルガーデン最大規模の保育園です。</p> <p>私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、「たくさん遊び、たくさん学び、いろいろな感情を感じて過ごせる」あたたかく豊かな保育を大切にしています。</p> <p>保護者の皆さまへ はじめての集団生活も、成長のひとつひとつも、保護者の皆さまと一緒に見守っていきたい。 子どもたちの「今」を大切にしながら、未来に繋がる毎日をつくっていきます。</p> <p>どうぞ、リトルガーデンインターナショナル幕張ベイパーク保育園で、安心と刺激のある園生活を体験ください。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

リトルガーデンインターナショナル幕張ベイパーク認可保育園

NPO法人 ヒューマン・ネットワーク

特に力を入れて取り組んでいること

1. チームワークを大切にしたり、明るく働きやすい職場づくりが行われている

開園2年目、保育目標「子どもも大人も心地よく過ごすことのできる暖かな場所」を掲げ、職員が安心して働ける環境と子ども達にとっても落ち着いて過ごせる環境づくりに努め、コミュニケーションを大切にし、意見を出しやすい、職員の主体性を尊重した園運営が行われている。職員個別に個人目標を基に面談を進め、個人の成長や悩みを確認し、成長を認め評価することでモチベーション向上に努めている。園では常勤・非常勤隔たりなく、他のクラスのことについても積極的に協力し合い職員全員で保育を行うこと等に努め、経験の浅い職員を育て、情報共有を密に行いチームで質の高い保育に取り組み、結果として子どもも保護者も、日々安心して過ごせるようになっていく。園長は現場に深く関わり、悩みや意見を聞き、助言・援助することで明るく働きやすい職場づくりに努めている。

2. 一人ひとりの自由な発想と表現を尊重した園内環境の中で、こどもの気づきや興味・関心を捉えて環境構成を工夫し、主体性、創造性、探求力、協働性、会話力、思いやり等の力を育てている

当園は、「国際感覚の育成と豊かな心を養う情操教育」の実現を理念に掲げ、子どもや保育者が自らの個性を発揮し自由に発想しながら豊かに表現できる環境を大切に考え取り組んでいる。今年度は特に「観察」をテーマに、こどもの生活や遊びの中での気づき、興味・関心を捉えた環境づくりに努めている。また、年齢の発達や其々のクラスの個性や特色を掴み、こどもの力を引き出す援助を心掛けている。子どもたちがイメージを膨らませながら創造性を発揮し、ごっこ遊びを展開したり、描画や制作活動では「やってみよう！」ことが、直ぐに実現できる環境の中で、のびのびと表現活動を楽しんでいる。3歳以上児は生活に見通しを持って自分で考え行動する力も身につけている。日常に発生するゴミに着目し、エコ環境に関心を持てるよう働きかける中で、年中児が「ゴミをさがそう！」と取り組み、発信した活動が園全体の関心につながっている。外国人講師とのチームワークも良く、楽しみながら身に付けた英語力を就学前に発表できるよう年長児は目標を持ち取り組んでいる。開園2年目であるが、全クラスの職員が園の理念に沿って一丸となり取り組み、こどもの持てる力を引き出す素晴らしい教育・保育が展開されている。

3. 「食べることを通して五感を養う、食の大切さを知る、食文化に触れる、感謝の気持ちを育てる、健康意識を高める」を食育目標に掲げ、給食職員と保育者が連携して食育に取り組んでいる

食育絵本の内容と関連した食の体験活動を取り入れ、食材に触れる、野菜の栽培や収穫体験、調理体験等で見る、触れる、匂いを嗅ぐなど五感を使って感じる事を大切にしている。子どもが育てて収穫した野菜は、「どんな料理に使おうか」と子どもと相談して決め、調理の一部に参加することで調理する人や物への感謝の気持ちと食への楽しみに繋げている。献立に世界の料理や行事に因んだメニューを組み込み日本や海外の異文化に触れている。日本の行事の由来を伝えたり、世界の料理ではその国の挨拶、音楽、衣装、動植物等を知らせる等、食を通して様々に視野が広がる保育内容と環境作りに努めている。栄養士は食育の日だけに留まらず積極的に子どもと一緒に食事したり、クラスを巡回し声をかけ子どもたちにとって身近な存在となっている。保育に食育を位置づけ、給食職員と保育者が連携し保育と連動した食育に取り組んでいる。

4. 保育内容の情報発信の工夫に努め、こどもの育ちを保護者と共に喜び合う関係性の構築に取り組んでいる

今年度は保育内容の可視化を課題とし、これまでホワイトボードに文章で知らせていた内容に写真を添えたドキュメンテーションを作成し、日々の活動内容やこどもの様子がより分かりやすく保護者に伝わるよう工夫している。ドキュメンテーションは毎日一人ずつ子どもを紹介したり、特色としている英語レッスンの様子、今日のお当番紹介等、クラスごとに担当が工夫を凝らし発信している。毎月の制作物は廊下に展示し送迎時に親子で見ても話し楽しめるようにしている。保護者参加の行事は保護者と子どもが楽しいひとときを過ごすと共に保護者と職員がこどもの成長の喜びを共有する機会となっている。今回の保護者アンケートでは「大変満足」「満足」と回答された方が多く園に対する総合評価は高い結果となっている。今後、自由意見に寄せられた意見を参考に更なる保育の質向上と保護者との信頼関係が深まることに期待したい。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 地域に向け保育園の持つ専門性を活かした子育て支援の取り組みに期待したい

園ではホームページやブログに園生活や保育内容を写真とコメントで分かりやすく情報提供している。また、地域の小・中学校の生徒の体験学習や養成校からの実習生の受け入れ体制を整えているが、開園2年目ということもあり発信している情報が地域に浸透していない状況にある。今後は情報提供の内容や発信方法を見直し、園の持つ専門性を活かした子育て支援の取り組みに期待したい。

2. 管理体制を整え、組織の再構築と運営の取り組みに期待したい

園では保育士の意見を尊重し、のびのびとした保育が実践されているが、今年度は主任保育士が不在の中、園長は保育室に積極的に入るようしており、保育を把握した中で相談、助言、指導をおこなっている。中堅職員を中心とした園運営を行っていくための組織作りを目標として指導・管理する役割を明確にし、安定した管理体制を整え組織の再構築と運営の取り組みに期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

【開園2年目の重点ポイント】

1. 職員体制の安定とチームづくり

- 日々のミーティングや面談を通して、意見を出し合える安心な雰囲気をつくる。
- 個人目標を設定し、達成を共有することで「成長を実感できる職場」にする。

2. 地域とのつながりを少しずつ広げる

- 園前や公園での小規模な親子イベントを年2～3回実施(例:英語あそび・ミニ食育体験など)。
- HPやアプリで月1回の写真・活動報告を発信し、園の信頼と認知を広げる。

3. 保育の質を育てる“日々の振り返り”

- 外国人講師との協働や英語活動を、日常の中の自然な関わりとして活かす。
- 記録、観察の力をつけ、子どもの成長を“見て、話して、考える”文化を醸成する

4. 保護者との信頼づくりを丁寧に

- 日々の小さな気づきを写真やコメントで短く共有し、安心感を届ける。
- アンケート結果を職員会議で振り返り、小さな改善を積み重ねる姿勢を発信する。

5. 運営の基盤整備

- フロアの見直しや担当分担を調整し、無理のない勤務体制を整える。
- 防災・安全管理・緊急時対応などの基本ルールを再確認。
- 新任職員・実習生受け入れ体制を整え、「育てながら支え合う園」を目指す。

福祉サービス第三者評価項目（リトルガーデンインターナショナル幕張ベイパーク認可保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3		
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7		
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備 職員の質の向上への体制整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3		
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	6	1	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	3	2	
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	3	1	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1	
			1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示 利用者満足度の向上 利用者意見の表明	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。					4	
2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み 提供する保育の標準化	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4			
		13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4			
3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3			
		15 提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4			
II 適切な福祉サービスの実施	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価 項目別実施サービスの質	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2		
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4		
	5 安全管理	子どもの健康支援 食育の推進 環境と衛生 事故対策 災害対策	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	3	1	
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5		
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4		
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6		
			26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	5	1	
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4		
			28 家庭との連携が十分図られている。	3		
			29 地域社会との連携が十分図られている。	2	1	
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3		
			31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3		
32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	1				
6 地域	地域子育て支援	33 食育の推進に努めている。	5			
		34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6			
計				148	11	

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育目標「子どもも大人も心地よく過ごすことのできる暖かな場所」を掲げ、「たくさん遊び、たくさん学び、いろいろな感情を感じて、素敵な時間を過ごしてほしい」という想いを共有し、日々の保育の中で実践している。保育や運営において判断に迷う場面があった際には「それが園を利用するすべての人にとって“心地よい選択”であるか」を判断基準として、振り返り、明日の保育に繋げ実践に努めている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念・保育方針は入園のしおりに記載され、園見学や入園説明時に説明を行なっている。また保護者会や進級オリエンテーションなどでも伝えている。お便りや送迎時等の日常会話でも、保護者一人ひとりに理念や方針が伝わるように丁寧に対応している。具体的な実践事例は毎月の園だよりや給食だよりを発行し伝えている。さらに、今年度からは「保育ドキュメンテーション」を導入し、一人ひとりのこどもの成長過程や保育者の意図を具体的に記録し、掲示することで、保育方針とこどもの育ちをつなぐ視点を意識した日々の保育内容を、より丁寧に保護者に伝えられるように取り組んでいる。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の取り組み課題として「『こどもをよく観察する』こどもにとって、全体にとってちょうどいいを探す」をテーマに ①「環境を通じた保育」こどもが自ら選び、探求心を育む環境を整える ②「対話の時間」仲間同士のつながりを感じ、コミュニケーション力を養う時間を大切にする ③「緩やかな担当制、選択制」一人ひとりの個性を尊重し、安心できる関係性のもとで、主体的に活動を選べる環境を提供する ④「観察記録の充実」こどもの心情をよく読み取るように努め、写真や言葉で記録を残す等を今年度保育の課題として職員と共有して取り組んでいる。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組む指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>働きやすい職場づくりとして、園内の雰囲気や、職員の小さな変化を見逃さず、声をかけ、職員一人ひとりの心に寄り添い、共感と具体的支援を大切にしている。また、保育内容や業務上の課題についても、個別のアドバイスにとどまらず、全体研修や職員会議で話し合うことで、職員同士の理解が深まり、職員のモチベーションやチーム力の向上につながっている。園長自身が現場に深く関わり、職員同士の信頼関係を構築することにより、安心して働ける環境とこども達にとっても落ち着いて過ごせる環境が整うように指導力を発揮している。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法令順守や倫理の保持については、園内での個別の対応や業務上の必要に応じて、その都度規定やルールを説明し、共有するように努めている。また、「人権擁護に関する研修」を受講し、職員会議で共有している。職員は入職時に同意書を交わし、プライバシー保護の考え方を周知している。園ではこどもの人格と権利を守る保育を徹底し、日常の言動やこども・保護者・職員同士との関りの中でも高い倫理観を自然に発揮できるよう園全体で取り組んでいる。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>園長が時間外労働や有給休暇取得状況を確認し就業関係の改善に努めている。職員からの意見や希望を定期的聞き取る機会を設け、日常の相談等の声掛けがあった時はすぐ時間を作るよう努めている。職員が休暇を取りやすいように配慮し、急な休暇についても職員全員で補うようにしている。育児休暇や懇親会費用の一部補助、近隣大型商業施設優待カードなどの福利厚生がおこなわれている。今回実施した職員自己評価では「残業・事務作業時間確保」等の意見があり、更なる改善が望まれる。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 職員は人事考課制度に従い、こどもの主体的な生活、発達過程に応じた保育、家庭との連携等58項目を自己評価し、振り返りをおこなっている。また、園長は年3～4回の個別面談をおこない、職員一人ひとりの目標を具体的に共に考え、振り返りとフィードバックにより能力向上を図っている。しかし、法人としてキャリアアップやキャリアパスが明確な形で示されておらず、評価基準や評価方法の明示、評価の客観性や透明性の確保、評価結果について説明責任を果たすことなど、適切な人材育成や職員評価を進めて行くことが望まれる。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 人材確保は法人本部がおこなっている。また、園独自に職員の卒業校との信頼関係作りや、スポットワークなどの短時間勤務を通じて接点を持つように努めるなど人材確保に努力している。運営面ではベテランと新人職員をペアで配備し、明確な役割分担のもと、クラスと園全体のサポートに努めている。園長による日々のフォローや個別面談を通じた関係性づくり等で組織体制の確立を図り、外部研修やキャリアアップ研修受講を積極的に勧め、チームワークの良い働きやすい職場づくりに努めている。今後、法人と採用から定着・キャリア支援までを一貫して見通せるシステムの構築を共有し、園内では「定着支援の可視化」「新人育成体制の明文化」を課題としている。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 職員一人ひとりのキャリアアップにつながる研修を受けやすい環境を整え、専門的なスキル向上に取り組んでいる。園内研修は「気になる子の対応法」や「保護者支援」などの実践的な研修が実施されている。また、研修計画を立て、市主催の「不適切な関りをゼロにする」などの研修に参加し、園内研修に繋げ、質の向上を図っている。新入職員はベテラン職員がペアを組み、丁寧(に)育成(に)務めている。今後、職員個別の育成方針に基づいた計画的・継続的な研修に取り組むことに期待したい。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 園では、こどもの権利擁護を保育理念の一つとして定め、年度初めに全職員を対象とした権利擁護に関する研修をおこない、「こどもをひとりの人間として尊重し、温かく見守ること」や「こどもの最善の利益とは何か」をグループワークで話し合い、理解・共有を図っている。日々の保育の中で保育者同士が常に話しあい、相談できるチームワークの良い職場環境づくりに努め、無意識な言葉づかいなどを防ぐために職員同士がお互いの保育を見守り合える風土が醸成されている。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 保護者一人ひとりに入園時に「入園のしおり」を用いて個人情報の取り扱いについて方針や利用目的を説明し理解を頂いている。職員には日々の業務の中で、写真の取り扱いや記録の管理、SNSや外部対応時の配慮など、注意喚起をおこなっている。実習生、ボランティアの取組みはまだないが、同様の対応をおこなう予定である。さらに個人情報保護に関する研修やマニュアルの共有を課題とし、組織的な情報管理体制の構築を目指している。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 保護者の意向・要望はコミュニケーションを大切にして言いやすい雰囲気を作り、日々の送迎時やアプリ連絡帳、個人面談で把握している。特に子ども一人ひとりの活動の様子と成長を丁寧に伝え、園だよりやクラスだより等で園方針や目標、活動とねらい等を伝え、子ども一人ひとりのコミュニケーションを中心に活動を伝える努力している。今回第三者評価にあたり実施した保護者アンケートでは満足度は高かったが、自由意見では改善して欲しい点も出されており、一層の信頼関係の構築を望みたい。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 入園時に「入園のしおり」を配布し、相談・苦情の制度について説明している。苦情解決制度について相談・苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員を明記して保護者に周知している。相談・苦情を受け付けた際はクラス担任、園長が早急に話し合い、問題点の確認、改善点の検討、保護者対応等を記録し、ミーティングで職員全体への周知を迅速におこない早期対応に努めている。今回の利用者アンケートでは「お子さんに関する悩みや不安などについて気軽に相談しやすいですか」の設問に対して「はい」と回答された方は63%であり、意見として「先生方が忙しいのであまり話せない」等の声が寄せられていた。また、苦情解決制度の仕組みに関する周知については十分な理解が図られていない為、説明時の工夫が望まれる。		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
保育士等の自己評価は全園共通の目標と個人目標の双方を設定したうえでおこなっている。また、市の評価項目も用い振り返りをしている。園長は面談に際して、何を基準に評価されるのか、どのように成長を目指すのかを年度当初に確認しながら取り組んでいる。今後さらに、保育士等の自己評価を踏まえ、保育実践やこどもの育ちを振り返る仕組みや、教育・保育内容の見直し等、課題の抽出と改善に向けチーム全体で系統的に取り組む体制を整えていくことを期待したい。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
保育実践における標準的マニュアルは、職員の意見を反映させながら段階的に進めている。今後はさらに、職員一人ひとりの経験や工夫を尊重しながら、実際の保育現場に役立つマニュアルの構築を目指している。マニュアルは「園で必ずこうする」と固定化するのではなく、現場で感じたことや成功・失敗の経験を共有しながら都度、見直しをし運用していく考えで進めていく。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園の情報はホームページで公開し、ブログを作成してこども達の生活や遊びの様子をよりわかりやすく発信している。園見学はホームページの見学予約ページから受け付けている。見学は10:30～11:30の時間帯で案内し、園の雰囲気やこどもたちの様子、保育者のかかわりを体感していただけるようにしている。また、保護者が安心して質問や相談ができるように、担当職員だけでなく園全体で温かく迎える雰囲気づくりを大切にしている。見学や問い合わせを「園と家庭の信頼関係の第一歩」と捉え、誠実な対応を心掛けている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始に当たり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園にあたって保護者との信頼関係づくりを重視し、教育及び保育の方針・内容等について丁寧に説明している。説明後は同意を得ている。入園時には「入園のしおり」を配布し、園の理念や方針、保育の基本的な考え方や日課などについて、文書でわかりやすく案内している。あわせて、保護者会や進級オリエンテーションの場を活用し、クラスごとの発達段階や年度ごとの重点目標、保育内容の変更点なども具体的に説明し、理解を深めていただけるように努めている。また、保育参観を適宜実施し、日中過ごしている姿や雰囲気を感じていただける機会を設けている。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協働体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
当園は開園2年目であり、全体的な計画はこれまでの運営実績をもとに、園長が中心となり作成し職員に周知している。理念・方針・目標は定期的なミーティングの中で共有し全職員が理解している。今後、職員全体で年間の保育の見通しや発達のねらいを共有・協議しながら、計画の作成・振り返り体制を整え、より実践的で園全体に浸透した計画へと発展させていくことを検討している。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画をもとに、各クラスで年間・月間・週間計画を作成している。作成に当たっては単なる文書作成にとどまらず、こどもの生活や発達を見通した指導計画の立案に向け、こどもの姿や環境構成、配慮事項の学びを深め実践力をつけていくことを目的とし取り組んでいる。昨年度は中期計画、今年度は週案をベースにこどもの興味・関心や遊びの観察にもとづいた計画作成に取り組んでいる。実践の振り返りは日々の保育日誌に記録し、こどもの姿に合わせて柔軟に見直している。園内研修や職員会議でも、計画と実践のズレや課題を共有し、個々の視点をクラス全体、園全体で整理する機会を定期的に設けている。			

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
園では、こども一人ひとりの「やってみたい」「もっと知りたい」といった主体的な気持ちを大切に受けとめ、こどもが自ら選択し、関わり、深めていける環境づくりに努めている。こどもの活動の姿を「観察」し、環境構成や保育活動計画においては、「子どもの視点から構成されているか」という点を意識し進めている。保育者其々の個性や得意分野を活かしながら、こども主体の保育に取り組み、各クラスのカラーや職員の視点を尊重し合う柔軟な雰囲気の中で保育が展開され、こどもたちは自発的にのびのびと生活や遊びを楽しんでいる。インターナショナルスクールとしての特性も踏まえ、こどもが楽しみながら英語に触れ自然なカタチで語学を身に付けていけるように、外国人講師と連携し取り組んでいる。こども主体の環境づくりについては、保育者一人ひとりの実績を共有し合い、さらに学びを深めていきたいと考えている。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
保育者は、一人ひとりのこどもの生活リズムや発達を見極めながら情報を共有し、受容的・応答的にかかわりの中で、こどもが安心して心地よく過ごせるように連携して保育に取り組んでいる。遊びの環境づくりとして、語りかけや歌いかけ、絵本の読み聞かせ等で発語を促したり、指先を使い触れて遊べる玩具の設定や、這い這い・伝い歩き・歩行を楽しみながら体をたくさん動かして遊べる用具や空間(保育室・廊下・多目的室を利用)の設定などを工夫している。天候の良い日は園庭や近隣の公園に出かけ、自然物・景色・様々な事象に出会いながら、感じたことを言葉を添えて伝え豊かな感性を育めるようにしている。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
1・2歳児クラスは定員21名の大規模な構成となっているため、活動の内容により、こどもの人数バランスや遊びの展開を観察し、コーナー設定を考え安全にゆったりと遊べるように環境づくりをしている。また、いろいろな場面で、まずはこどもの気持ちを受けとめ代弁しながら、互いの気持ちに気づけるように援助したり、自分で決める・選ぶを大切に、やってみたい遊びを保育者や友だちと関わりながら楽しみ、一緒にあそぶ楽しさを共有できるようにしている。2歳児はやってみたいことも増え、うまくいかないことも沢山あるが、こどもの葛藤の姿を根気強くあたたかく見守りながら、自分でできた満足感が次の意欲につながるように援助している。ごっこあそびのコーナーや、パズル、紐とおし、粘土、ブロック、プラレールなど設定し、集中して取り組んだり、「友だちと遊ぶ・かかわる」という経験ができるよう、保育者は一人ひとりのこどもをつなぐ援助をしている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
3歳以上児クラスでは、開園2年目を迎え、こどもたちも園生活に慣れ親しんできています。昨年度からの継続的な活動の積み重ねもあり、より多くのことにチャレンジできるよう保育者も積極的に環境づくりに取り組んでいる。こどもたちの興味や対人関係の広がりを捉え、それをもとに環境構成や活動計画に反映できるようにしている。3歳児は自分の好きなことを心から楽しみ、豊かな遊び・体験を通して、感性・創造力が育まれている。友だちとの関わりや生活が広がる中で、約束やルールを守るこの大切さを感じ、自分で考えて行動する力も身につけている。4歳児は友だちと遊びたい、誰かと共に楽しみたい思いを実現できるように、環境づくりをし、4月から始まった「お姫様ごっこ」を中心にお城の制作に皆に関わり、現在も遊びが発展している。男児はウルトラマンの世界をイメージした遊びに興味を持ち、想像力を膨らませ考え合っている。また、環境をテーマに「ゴミを探そう!」とエコ活動に取り組み、園内で発表し関心を広げている。保育者はこどもの気づきを大切に受けとめ、友だち、集団の中で十分に自己を発揮できるよう、援助している。5歳児は、こどもが「自分で考える」「友だち同士で考え合う」ことを大切に、自分の思いを伝え相手の思いを考えながら、互いに認め合えるよう、毎日のモーニングサークルやホームルーム、集団活動などを通して、環境づくりをしている。家族・友だち・クラス・保育園・地域・小学校・国・世界など、さまざまなつながりの中で自分を感じられるよう、インターナショナル保育園の特色を活かした環境の中で就学までに育みたい10の力を培っている。			
24	身近な自然や地域社会と関わられるような取り組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
園が所在する近隣エリアは自然や公共施設が身近に整った環境であり、クラスの発達段階や興味・関心、当日のこどもの姿に応じて、様々な公園に出かけ自然とふれあう体験や、固定遊具、鬼ごっこ、かけっこなど全身を使ってのびのびと遊んでいる。園庭は人工芝になっているが、フェンス回りやプランター、畑スペースなどを活用して花や野菜を育て、限られたスペースの中で自然に触れられるように工夫している。地域社会とのつながりは、ハロウィンイベントを通じた地域散策や消防署・警察署への訪問など、公共施設を活用した体験的な活動を実施している。今後も、地域資源を活用した体験活動を継続し、自然や社会のつながりの中で、こどもの気づきや関心が広がる教育・保育を目指していきたいと考えている。			

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。

(評価コメント)

インターナショナル保育園としての園風を活かしながら、こども一人ひとりが、自分の気持ちを大切にしつつ、相手の気持ちに気づき、受け止められるような人間関係の育ちを大切にしている。こどもも職員も互いの考えや感じ方を尊重する文化が園全体に根付くよう意識的に取り組んでいる。特に社会性の発達を促す年齢においては、こども同士のトラブルやすれ違いが日常的に起こることを事前に、保育者は「介入する」「見守る」「予防する」「代弁する」といった援助を、こどもの姿を捉えて見極め、関わり方のバランスを考え丁寧に対応できるよう努めている。保育者は其々のクラスカラーに合ったアプローチを心掛け、こどもの社会性の育ちを育てている。

26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。

(評価コメント)

気になるこどもや配慮を必要とするこどもの姿を職員間で伝え合い関わり等を共有し日々の保育をおこなっている。専門機関による訪問支援体制が整っており定期的にこどもや保育者の関わりを観察していただき、午後はケース会議を開催し専門的な視点から様々な助言を受けることができる。助言内容は職員間で共有しこどもが安心して生活が過ごせるよう適切な援助に繋げている。保護者とは送迎時の会話や面談で子どもの様子や対応を共有し、保護者、園、専門機関が連携してこどもの育ちを支えている。職員は外部研修に参加し障害や配慮を必要とするこどもの理解や知識の習得に努めている。気になるこどもや配慮を必要とするこどもの保育について全職員で定期的に話し合いきめ細かな保育の実践に繋げているが、今後は個別の指導計画を作成しこどもの育ちの可視化に繋げることが望まれる。

27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。

(評価コメント)

朝夕の保育は早番、遅番のシフト勤務体制の正規職員と非常勤職員でおこなっている。職員間の引き継ぎは「朝夕引継ぎ簿」や「登園簿」を用いてこどもの健康状態や保護者からの伝達事項を書面と口頭でおこない伝達漏れのないよう努めている。その他、職員が休み等で不在になる場合は職員ラインを導入し迅速で正確な情報共有に繋げている。延長保育を利用することも18時に2歳児室で補食のおにぎりやゼリーを食べた後、概ね20名ほどが1歳児室での合同保育となる。全年齢が共に過ごす時間となるため、特に安全面に配慮しながらこどもたちが好きな遊びが楽しめるよう動的な遊びや静的な遊びができる環境づくりに努めている。また保育者とこどもがおしゃべりを楽しみながら掃除したり洗濯物をたたんだりし穏やかに過ごしている。非常勤職員は積極的に会議に出席しこどもの関わり方や保育の進め方の理解に努め、日々の保育実践に活かしている。

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。

(評価コメント)

保育内容やこどもの様子は送迎時の会話や連絡アプリで伝える他、毎日ドキュメンテーションを作成し各クラスの入口に掲示して日々の保育内容やこどもの様子を写真とコメントにより分かりやすく保護者に伝える工夫をしている。定期的な個人面談の他に保護者から相談があれば別途、面談の時間を設け保護者の話を丁寧に聞くように努め記録に残し経過にも配慮している。英語レッスンの参観や親子遠足、夏まつり、スポーツフェスティバル、発表会等、保護者参加の行事では保護者とこどもが楽しいひとときを過ごすと共に保護者と保育者が子どもの成長の喜びを共有する機会となっている。園独自及び本部主催の保護者アンケートを実施し保護者の意向や要望を受け付ける体制がある。今年度は保護者からの要望を受け、給食のメニューに取り入れている世界の料理を保護者向けに試食会として取り入れた。

29	地域社会との連携が十分図られている。	<input type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。

(評価コメント)

就学に向けて保育所児童保育要録を小学校に送付することについて入園のしおりに記載し保護者への周知に努めている。年長児は近隣の小学校を見学したり小学生と交流する機会を設け入学への期待感に繋がるようにしている。小学校と園が連携してこどもの育ちの情報共有を図り小学校生活へのスムーズな接続に努めている。小・中学校の生徒の体験学習や養成校からの実習生を受け入れる体制はあるが、開園2年目のため今年度は希望がなく、今後関係機関への情報提供に努めることに期待したい。

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
年度初めに権利擁護に関する園内研修を実施し、子どもをひとりの人格として尊重することや子どもの最善の利益とは何か、基本的な理解の共有を図っている。また研修を通して虐待のサインへの気づき方、園内での報告体制、関係機関との連携方法等について周知と理解に繋げている。「気になる変化を見逃さない視点」「職員間で共有すべき兆候とその段階」等、具体的な対応フローを確認し、事案が発生した場合はチーム及び園全体で対応する体制を整えている。園長はこまめに保育現場を巡回し職員の言動について確認し必要な指導、助言をおこなうと共に、職員同士がお互いの保育を見守り合い、声を掛け合える職場環境作りに努め、不適切保育や権利擁護について意識を高め適切な教育・保育に繋げている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
年間保健計画に期ごとの活動内容、配慮と環境整備、保護者への保健指導を明示し計画的に実践している。年度末には健康総括ミーティングの中で振り返りをおこない次年度の見直しを図っている。日々の健康状態は保護者からの伝達や連絡アプリ及び受け入れ時の視診、触診により確認し朝のミーティングで職員間の情報共有に努め、子どもが一日を心地よく過ごせるよう保育の配慮に努めている。嘱託医による内科健診、歯科健診、毎月の身体測定の結果を保護者に伝えている。職員は乳児突然死症候群(SIDS)に関する知識を園内研修で学び睡眠中の安全確認に努め記録している。保護者にはポスターを掲示し情報提供している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
保育中に体調不良や怪我が発生した場合には保護者への連絡、医務スペースでの静養、状況に応じた受診体制を整えている。感染症罹患歴や予防接種の状況を確認すると共に、ほげんだよりで感染症の主な症状と日頃の生活の留意点を情報発信し、健康生活への意識向上に努めている。感染症が疑われる場合には病名、人数、症状などをアプリで保護者に情報発信し感染の拡大予防に繋げている。職員は誤食・誤嚥、熱性痙攣、嘔吐処理方法等を園内研修で学び緊急時の迅速な対応に備えている。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
食べることを通して五感を養う、食の大切さを知る、食文化に触れる、感謝の気持ちを育てる、健康意識を高める等を目標とした食育計画を作成し、保育と連動した食育活動を実践している。保育者と給食職員が連携して毎月食育絵本の読み聞かせを基にした食育活動をおこない、野菜の栽培、調理体験の取り入れ、マナーを知らせる等こどもが食事を楽しみ美味しく食べる環境づくりと関わりを努めている。調理体験はできる限りこどもの意見を取り入れておこなっている。今年度は収穫したなすをどんな料理に使いたいかわかるとこどもたちと相談しピザのトッピングに使った。苦手な野菜を自ら調理することで食べてみようとする姿が見られた。世界の料理、行事に因んだメニュー、リクエストメニューを献立に組み込みこどもが食事を楽しみに行けるよう工夫している。こどもの目線で給食室内が見える環境にあり、家庭とは異なる調理器具や調理の様子に関心を持ちながら食事時間を楽しみにする姿が見られている。給食職員は毎日クラスを巡回する他、月に1～2回ビッグルーム(多目的スペース)でこどもと一緒に食事しこどもの関わりを大切にしている。食事の写真展示、毎月発行する給食だより、保護者の試食会実施、食事に関する相談対応等、家庭への食育推進に努めている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
室内は温湿度計、換気扇、エアコン、空気清浄機、加湿器の使用、園庭は日差し除けの設置により過ごしやすい環境の保持に努めている。施設内外の清掃、整理整頓、遊具の消毒はこまめにおこない清潔や衛生面に留意している。感染予防や衛生意識の向上を目的とした外部講師による手洗い指導や歯磨き、シャンプーの仕方、机の拭き方、うんちの話等、衛生研修を取り入れこどもと職員の衛生習慣の再認識に繋げている。			

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事故発生時のマニュアルを整備し職員に周知している。事故記録やヒヤリ・ハットの報告、記録を共有し、原因の分析と改善を図り再発防止と職員の危険予知能力の向上に繋げている。施設内外の安全点検を毎朝おこない、安全対策チェック表や自主点検表に記録し安全な環境の中で子どもと職員が過ごせるよう努めている。子どもの所在確認として連絡なく欠席した場合は園から電話をかけて欠席の確認をする、散歩時や活動の節目には必ず人数確認をすることを徹底している。不審者侵入対策としてカメラ付きインターフォンの設置と施錠の徹底、さすまたの準備の他、訓練の実施等で危機管理に努めている。</p>		
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>火災、地震、津波、台風による風水害等の非常災害に備えた対応マニュアルの整備と、災害発生時における業務継続計画(BCP)を策定し職員への周知と定期的な見直しをおこなっている。毎月の避難訓練は様々な状況下での災害の発生を想定して訓練をおこない、9月には保護者と連携した引き渡し訓練をおこなっている。また消防署や近隣のマンションの防災センターと連携体制を整備し災害時における情報共有に繋げている。周辺の避難ルートや地域の危険箇所の把握と確認をし安全な避難経路の確認に努めている。災害時の安否確認はアプリ、災害伝言ダイヤル、電話、避難場所の掲示によりおこなうこととしている。保護者には入園のしおりに記載して口頭でも説明し周知を図っている。災害対応の備蓄品として食糧、水、ミルク、おむつ等おおよそ3日分を備えている。</p>		
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育てニーズを把握している。 <input type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 <input type="checkbox"/> 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>散歩やハロウィンイベント、消防署や警察署、図書館などの公共機関の見学や利用、系列園の年長児との交流などにより、地域の方々と触れ合う機会や日々の生活体験が広がるよう取り組んでいる。今後は地域の行事や清掃作業の参加等、地域資源を活かした体験活動を検討している。地域の子育て家庭に向けてはホームページやブログで園の情報提供をおこなっているが、開園2年目のため地域の子育て家庭に向けた支援は積極的に推進していない状況にある。今後、園の持つ機能を活かし地域の子育て支援に努めていくことに期待したい。</p>		